

令和 3 年 5 月 2 0 日

資料提供

担当課室	農業環境・鳥獣害 対策室	農作物病虫害防除 所 紀の川駐在
担当者	大谷	森本
電 話	073-441-2905	0736-73-2274

病虫害発生予察注意報(第2号)について

令和3年度病虫害発生予察注意報（第2号）を別添のとおり発表します。

令和3年5月20日

令和3年度病害虫発生予察注意報（第2号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：モモせん孔細菌病
2. 対象作物：モモ
3. 対象地域：県北部
4. 発生量：やや多～多
5. 発生時期：4月～8月
6. 注意報発表の根拠
 - 1) 県北部における5月中旬の発病葉率は2.1%（平成2.8%）と平成並であるが、発生ほ場率は80%（平成66%）と広く発生が認められる。
 - 2) 4月下旬～5月中旬の累積降水量が多い年に、7月中旬の発病果率が高くなる傾向にあり、本年の4月下旬～5月17日の累積降水量は273mmと多い（図1）。
 - 3) 気象庁の発表によると、本年は5月16日に近畿地方が梅雨入りしたとみられ、向こう1か月（5月15日～6月14日）の近畿地方の降水量は、多い確率が60%となっている。風雨が強い場合に急速に感染が拡大するので、注意が必要である。



写真1 モモせん孔細菌病の発病葉



写真2 モモせん孔細菌病の発病果実

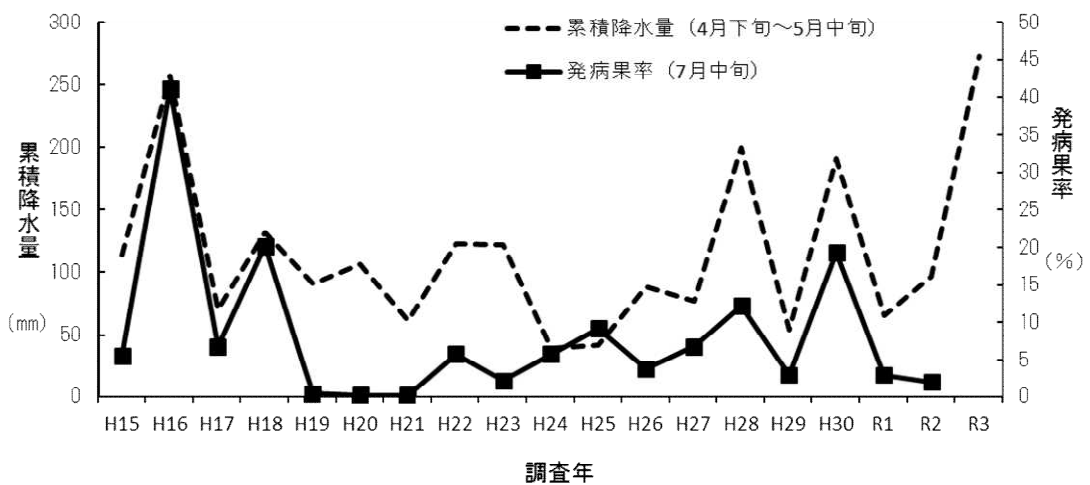


図1 累積降水量とモモせん孔細菌病の発病果率の関係

注1) 降水量の観測地点：和歌山市（和歌山地方気象台）

注2) R3の降水量は4月下旬～5月17日までのデータ

注3) 発病果率は、紀の川市とかつらぎ町の10ほ場のデータ

7. 防除上の注意事項

- 1) 気象予報を参考に、降雨前に予防散布を実施する。薬剤使用の際は、使用濃度、収穫前日数など使用方法を必ず確認する。
- 2) 風雨による果実への感染を防止するため、袋掛けは速やかに行う。
- 3) 新たな感染を防止するため、伝染源となる発病枝（枯れ枝）、発病葉、発病果実を除去する。
- 4) 発病葉は早期落葉する恐れがあるため、袋掛け後も薬剤散布を徹底する。
- 5) 破損している防風ネットの補修や防風樹の管理に努める。

和歌山県農作物病害虫防除所（紀の川駐在）
電話：0736(73)2274